アルコール依存症対策

受診患者の長期的回復のために

SBIRTSの展開と

モデル事業の推進

平成30年度厚労省依存症対策予算

○ 依存症対策の推進  総額 6.07億(5.4億)
1. 全国拠点機関における依存症医療・支援体制の整備 69百万
2. 地域における依存症の支援体制の整備 5.2億
3. 依存症問題に取り組む民間団体の支援
   ①全国を対象とする民間団体への支援 18百万
   ②アルコール関連問題・薬物依存症・ギャング等依存症関連
      民間団体支援事業に地域生活支援事業等の内数から(別枠)

○アルコール健康障害対策の推進 17百万
アルコール健康障害対策理解促進、都道府県推進計画策定促進
・アルコール依存症対策は「依存症対策」に受け継がれた

アルコール健康障害対策の重点課題

1. 飲酒のリスクに関する知識の普及徹底と、アルコール健康障害の発生予防

2. 予防及び相談から治療、回復支援に至る切れ目のない支援体制の整備
   （1）アルコール健康障害への早期介入
   （2）地域における相談窓口の明確化
   （3）アルコール健康障害当事者と家族を相談・専門治療・回復支援につなぐための連携体制の推進
      施策：①拠点専門医療機関整備の促進
      ②地域における相談拠点の明確化と関係機関の連携体制の構築

厚労省依存症対策の重点課題

1. 依存症の専門医療機関の指定（47都道府県+20指定都市）

2. 地域における依存症支援体制の整備（都道府県へ）
   ・相談拠点67ヶ所への人員配置
   ・依存症治療拠点機関と自助グループ等との
     受診後の患者支援に係る連携体制の構築
     → モデル事業 → 受診後の診療報酬の検討まで

3. 依存症に取り組む民間団体の支援
   ①全国的活動をする民間団体への支援（直接）
   ②アルコール関連問題・薬物依存症・ギャング等依存症に
      取り組む民間団体支援事業に
      地域生活支援事業等の内数から（都道府県へ）
      自助グループ等民間団体の活動支援
依存症対策に向けて有機的な施策の構築を

1. 相談拠点の設置と相談拠点のネットワーク化
   アルコールに特化した看板とアクセス容易な相談場所
   拠点から医療、自助グループ等社会資源へつなぐ人材の配置
   地域連携のコントロールタワー

2. 早期発見・早期治療・受診予後の支援体制の確立
   ①連携医療ネットワークの構築
   ②行政・医療・自助によるSBIRTSの実践と
      エビデンスの蓄積
   ③健診・職域健康の段階からSBIRTSの実践を

3. 行政を中心とした地域連携による啓発事業の実施

4. 地域連携 オホルアグループの活用と支援
   体験談の活用と面接ミーティング会場提供等の支援

初めて打ち出された受診予後対策

受診後の患者支援に係るモデル事業案
○自助グループとの連携が図られている医療機関が不十分

受診後、退院後に一定期間継続して
①生活上の課題の確認・助言指導
②民間支援団体を紹介し、
→再飲酒率、再使用率低下→診療報酬加算
→民間支援団体と連携する医療機関の増加
→依存症回復者の増加

モデル事業の構築について

○事業費は100％国が負担

○平成30年7月現在 6府県が実施を決定
神奈川、静岡、愛知、岐阜、三重、大阪

○望まれる行政、医療、自助3者による検討会議
SBIRTSの活用と普及促進について

受診後の患者支援に係るモデル事業構築のために

刈谷病院
菅沼直樹

2019/1/6

かかりつけ医によるアルコール関連問題の認識

かかりつけ医が推定した問題飲酒者の割合（男性）

(Kazuya Kitamura et al, 2001, Jpn. J. Prim. Care)

10 0 30

37.9%

23.5%

1.6% 0.6% 1.0%

0% 0-1% 1-5% 5-10% 10-15% 15% 無記入

男性の内科外来はアルコール外来？

男性の外来通院している

高血圧症患者の36% がアルコール症(注)

心疾患患者の36%

肝障害患者の84%

高脂血症患者の77%

糖尿病・脂質異常疾患の69%

痛風・高尿酸血症患者の60%

注: 定義内容はICD-10のアルコール依存症使用＋依存症とほぼ同じ

(仙台市外の内科クリニックでの開院2年目の外来初診患者4271名の全数調査1989年)

飲酒問題をもつ一般病院外来患者の割合

都内の総合病院でのCAGE2項目以上発言の頻度 2011

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内科</th>
<th>外科</th>
<th>神経内科</th>
<th>小児科</th>
<th>産婦人科</th>
<th>眼科</th>
<th>呼吸器科</th>
<th>耳鼻咽喉科</th>
<th>麻酔科</th>
<th>他的部門</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男性</td>
<td>21.3</td>
<td>24.9</td>
<td>21.3</td>
<td>21.3</td>
<td>16.3</td>
<td>29.2</td>
<td>24.6</td>
<td>19.0</td>
<td>22.6</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>8.7</td>
<td>8.9</td>
<td>10.2</td>
<td>2.4</td>
<td>14.1</td>
<td>0.0</td>
<td>5.8</td>
<td>3.2</td>
<td>8.7</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

総計

<table>
<thead>
<tr>
<th>一般成人</th>
<th>4倍</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男性</td>
<td>21.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>10.1%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

原発症研究会 2013